

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社クレハ（証券コード:4023）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
発行登録債予備格付	A
国内CP格付	J-1

■格付事由

- ファイン・スペシャリティ主体の化学メーカー。機能樹脂を中心とする機能製品事業、医薬品や農薬などの化学製品事業、家庭用品や食品包装材などの樹脂製品事業をはじめ、幅広い事業を手掛ける。リチウムイオン二次電池用バインダー用途のフッ化ビニリデン樹脂や家庭用ラップ「NEW クレラップ」などで高いシェアを有する。生産は主力のいわき事業所（福島県いわき市）のほか、米国や中国にも拠点を構築し、差別化された製品のグローバル展開を図っている。
- 業績は底堅く推移している。機能製品事業では、シェールオイル・ガス掘削用途向け PGA 樹脂の収支が非常に厳しいが、フッ化ビニリデン樹脂や PPS 樹脂の自動車用途での販売が堅調に推移する見通しである。樹脂製品事業は景気に左右されない家庭用ラップを中心としており安定感がある。当面、一定程度のキャッシュフロー創出力を保てよう。また、財務体質は健全で、近年は利益の資本蓄積や資産売却などにより財務基盤の強化が進んでいる。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- 22/3 期の会社計画の営業利益は 150 億円（対前年比 13.1%減）である。コロナ禍で減少した需要が回復に転じるものの、災害関連廃棄物の処理などに関する前期の一時的な需要増の効果がなくなる。中期的には樹脂製品事業の家庭用ラップや釣糸が安定収益源となる中で、生産能力の拡充に努めるフッ化ビニリデン樹脂や PPS 樹脂の自動車用途での販売増が見込まれる。収益基盤の一層の強化に向けては、赤字の PGA 樹脂の収支改善が大きな課題であり、その販売動向や収益構造に注目していく。
- 22/3 期第 1 四半期末の親会社所有者帰属持分比率は 72.9%、DE レシオは 0.2 倍を下回るなど、財務構成は良好である。近年は利益の資本蓄積が進むとともに、投資有価証券や不動産の売却もあり、有利子負債が減少している。結果としてリスク耐久力は増し、成長投資に柔軟に対応できる状況にある。当社は今般、中国でフッ化ビニリデン樹脂の生産能力を大幅に拡充することを公表した。今後、これに伴う相当額の支出が生じる見通しだが、引き続き健全な財務体質を維持できると JCR ではみている。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：株式会社クレハ

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 6 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70 億円	2017 年 9 月 1 日	2022 年 9 月 1 日	0.140%	A
第 7 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2018 年 10 月 18 日	2023 年 10 月 18 日	0.140%	A

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	200 億円	2020 年 7 月 30 日から 2 年間	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100 億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年8月6日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社クレハ
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル